

ファンタシースター アドベンチャー

1992年3月13日 / セガ / 3,500円 / 1M /
G-3216 / アドベンチャー /
1人用 / パスワードコンティニュー

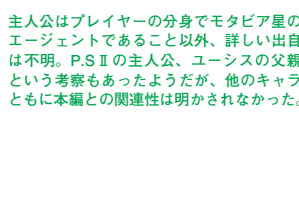
『ファンタシースター』(P.S) といえば、SFをメインにファンタジーの概念も取り入れた、セガの中でも長い歴史を誇るRPGだ。セガ・マークIII(第1弾)の復刻版を含めると、メガドライブではアルゴル編と呼ばれる四部作もの大長編となり、後に『P.S オンライン』へと繋がる壮大なスペースオペラとして地盤を固めた。

本作はシリーズでも数少ないコマンド選択式ADV第2弾。物語の舞台は『P.S II 還らざる時の終わりに』より遡ること18年前のデゾリス星。システムは同作品の番外編『P.S II テキストアドベンチャー』を踏襲している。

ゲームは「いどう」、「みる」、「はなす」など6種類の基本コマンドを使い分ける王道のADVスタイルに加えて、要所でダイスによるTRPG風の戦闘を交えながら物語は進行する。

謎解きの難易度、ボリュームどちらもローフラットで本編との繋がりも希薄な内容はファンの評判も微妙だったようだが、後に待ち受ける荒んだ時代と悲劇を思えば、本作はまだ平和だった時代の貴重な1ページといえるだろう。

「ちから・もりもりん」を取り戻せ!



主人公はプレイヤーの分身でモタビア星のエージェントであること以外、詳しい出自は不明。P.S IIの主人公、ユーススの父親という考察もあったようだが、他のキャラとともに本編との関連性は明かされなかった。

本作は『ファンタシースター外伝』とともにPS2、PS3の『ファンタシースターコレクション』の隠しゲーム(タイトル画面で方向キー【右】を押しながらスタート)として収録されている。